

学 校 長 殿
英 語 科 担 当 者 殿
E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 員 各 位

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 会 長 本 多 敏 幸
第 2 4 回 研 究 大 会 実 行 委 員 長 高 瀬 ひとみ

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 4 回 研 究 大 会 (第 二 次 案 内)

爽秋の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 4 回 研 究 大 会 を、下 記 の 要 領 で 開 催 す る 運 び と な り ま し た。毎 年、多 くの 現 職 教 員 の 方 々 に 加 え 英 語 教 育 を 志 す 学 生 の 方 々 も 熱 心 に ご 参 加 い た だ き、熱 気 あ ふ れ る 大 会 と な っ て お り ま す。こ れ も ひ と え に 皆 様 の ご 協 力 と ご 支 援 の 賜 と 感 謝 致 し て お り ま す。

昨 今、小 学 校 か ら 大 学 ま で、英 語 教 育 を め ぐ り 様 々 な 動 き が あ り ま す。本 学 会 で は、こ の よ う な 動 向 も ふ ま え つ つ、よ り よ い 英 語 教 育 を 目 指 し て、各 研 究 部 会 で 研 究 を 進 め て 参 り ま し た。

今 年 度 も、拓 殖 大 学 を 会 場 に、参 加 者 の 皆 様 と と も に 視 野 を 広 げ、英 語 教 育 を 見 つ め 直 す 一 日 に し た い と 願 っ て お り ま す。

英 語 教 育 に 関 わ る す べ て の 先 生 方、教 員 志 望 の 学 生 の 皆 さ ん、奮 っ て ご 参 加 下 さ い。

記

1. 期 日： 2018年10月28日（日） 9:20～17:20
2. 会 場： 拓殖大学文京キャンパス（東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩3分）
C館5階を中心として（受付はB館1F学生ホール）
3. 主 催： E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会
4. 参加方法： ・ 事前の参加申し込みは不要です。参加ご希望の方は、当日会場で受付をお願いします。受付は一日を通して行っています。
・ 当日に入会（年会費5,000円）の手続きをなさった方は、会員として無料で参加できます。
5. 参加費（資料代）： 会員 無料 学生 1,000円 一般 3,000円
6. 大会プログラム（予定。詳細は変更になる可能性があります）：

9:20	受付開始	12:30～13:20	研究部会発表Ⅰ
9:50～10:00	開会行事	13:30～14:20	研究部会発表Ⅱ
10:00～11:30	講演	14:30～15:20	研究部会発表Ⅲ
11:30～11:45	会員総会	15:35～17:10	ビデオによる公開授業（一般会場）
11:30～12:30	昼食・協賛企業展示	15:35～17:20	同（学生会場）
		17:10～17:20	閉会行事
		17:30～19:00	懇親会（学生食堂）

7. 内 容：

<午前の部>

◆講演

タイトル：「授業でも教えたい大切なこと」(10:00～11:30) C501

講 師：井上 逸兵（慶應義塾大学）

司 会：長沼 君主（東海大学）

ひょんなことから NHK の語学番組に携わるようになりました。私は英語教育プロパーではなく、社会言語学です。番組のコンセプトとして、ことばを介して人とどう接するかということ意識して英語を使ってみることに主眼を置いています。「対人」、「コンテキスト」、「使用」は、実践によって身につけるのが効果的だと思われませんが、それらを広い意味での「教室」でどのように取り入れたらよいかについて私見をお話させていただければと思います。

<午後の部>

◆研究部会発表 I (12:30～13:20)

小学校英語教育研究部会 C501

「言語活動での「学び」を支援する児童と教師のための足場作り」

今年度より新学習指導要領への移行期間が始まり、新教材『We Can!』及び『Let's Try!』に基づいた新しい形の授業が導入され始めた。ワークシートや補助教材などの学びを支援するため道具も提供される中、そうした教材が授業の負担とならず、学びの足場となるためにはどのように活用したらよいのだろうか。児童と教師の双方への足場としての使い方を考える。

発表者：長沼君主（東海大学） 幡井理恵（昭和女子大学附属昭和小学校）

羽田あずさ（横須賀市立田戸小学校）

音声指導研究部会

「音読学研究と実践の、一歩先へ」 C401

2007年度以来音声指導研究部会の大きな研究テーマである、豊かな音声表現とその指導のための研究分野「音読学」。音声学・認知心理学から英語教育史まで幅広い探究をベースに、研究部員の音声指導へのアプローチと実践を紹介する。授業実践に加えて書籍・ラジオ講座などの取り組みも紹介し、実践上の成功例のみならず悩みや葛藤なども共有することで、フロアの方々とやり取りを活発に行うインタラクティブな研究発表にしたい。

発表者：田中敦英（桐朋中学校・高等学校） 松津英恵（東京学芸大学附属竹早中学校）

中村剛世志（学習院女子中・高等科） 島岡丘（筑波大学シニア・プロフェッサー）

評価研究部会

「中高における「話すことのパフォーマンステスト」の実態調査」 C405

評価研究部では汎用性の高い評価方法の開発を視野に入れて、まず中高の現場でどのようにパフォーマンステストが行われているか実態調査をすることにしました。大会では結果分析から得られた知見についてお話ししたいと考えています。なお、パフォーマンステストは「話すこと」に限定して質問紙を作成し、評価対象とする活動の種類、授業活動とテストの関係、評価の目的・形式・タイミング、評価スケールの具体的内容などについて調査します。さらに、現場の先生方がパフォーマンステストの実施上工夫している点や問題点などについても言及する予定です。

発表者：中村隆（城北埼玉中学高等学校） 岩瀬俊介（千代田区立九段中等教育学校）

工藤洋路（玉川大学） 鈴木千貴（横浜市立桜丘高等学校） 牧野彰宏（世田谷区立緑丘中学校）

◆研究部会発表Ⅱ (13:30~14:20)

実践研究部会 C501

「話すこと [やり取り] における会話技術と表現 —『We Can!』と中学1年生用検定教科書の調査結果—」

実践研究部会第Ⅲ期研究テーマ「中・高連携を考えたコミュニケーション活動」で作成した「指導したい会話技術一覧」(2008)を基に、『We Can!』と中学1年生用文部科学省検定教科書から抽出した会話表現を会話技術別にまとめました。小学校と中学校との連携も踏まえ、話すこと [やり取り] を指導する際、どのような会話技術や表現を教えたらよいかを共有したいと思います。

発表者：本多敏幸 (千代田区立九段中等教育学校) 加藤理嘉 (お茶の水女子大学附属中学校)
八木孝之 (都立新宿山吹高等学校) 齊藤澄江 (埼玉県立久喜高等学校)
三浦幸子 (都留文科大学) 溪内明 (文京区立第八中学校)

リーディング研究部会 C401

『推論』を促す活動を取り入れ、学習者の思考力・分析力を主体的に育成・発展させるための読解指導の作成手順・方法・留意点 —Active reading から Deep active reading への転換を目指す指導—

本研究部会では、次の2種類の読解活動を提案し、検討する。

(1) 公立中学生を対象とする検定教科書を活用した指導法

物語の登場人物の心情の推移や行動の展開に着目させ、適切な推論を促す発問に取り組むことを通じて物語の主題を捉えさせ、物語の主題の適切性を分析しながら議論させ、主題に関して深く考えさせる態度を育成する指導

(2) 私立高校生を対象とする入試問題を活用した指導法

国立大学の入試問題を題材としつつ、難解な文章に関する筆者の意図、未知語の意味、文章展開を、適切な推論を促す発問を通じて正確に捉えさせ、その妥当性を議論させる活動を通じて、深く考えさせる態度を育成する指導

発表者：寺内正典 (法政大学) 渡邊聡大 (海城中学高校) 杉本康子 (小平市立小平第二中学校)
堀健太郎 (Plandit) 酒井藤恵 (東京家政大学)

◆研究部会発表Ⅲ (14:30~15:20)

オーラルアプローチ研究部会 C501

「授業パッケージ・中学校・復習編」

「英語で授業を行う」ための基本的な技術である「オーラルイントロダクション」と「パターンプラクティス」について研究しています。現在は導入から復習、そして言語活動まで、様々な先生方が参考にできる「授業パッケージ」の作成を行っています。今年度は中学校の授業の「ゴールの言語活動を見据えた」復習の部分を提案します。効果的な復習例を示しながら、部会でどのように話し合ってきたのか、その過程もお伝えすることで、他の学年、文法事項、題材にも応用が可能と考えています。

発表者：宮崎太樹 (八王子市立ひよどり山中学校) 牧野彰宏 (世田谷区立緑丘中学校)
田所毅 (小平市立小平第五中学校) 安部智秀 (練馬区立大泉中学校)

ライティング研究部会 C401

「資格・検定試験で求められるライティング力を授業でどう育むか」

民間の資格・検定試験や高大の入学試験におけるライティング問題では、どのようなライティング能力が評価され、また、それらの能力はどのように育成すべきかを議論する。試験を見据えた際に、問題形式の演習に過度に陥らないためのライティングの学習の在り方についても検討しながら、そうした学習は、新学習指導要領で求められている「対話的な学び」や「主体的な学び」とどう関連させるべきなのかも考えたい。

発表者：工藤洋路 (玉川大学) 長沼君主 (東海大学) 木幡隆宏 (秋田大学)
齊藤澄江 (埼玉県立久喜高等学校) 松岡まどか (横浜雙葉中学高等学校) 和田朋子 (工学院大学)

語彙指導研究部会 C405

「L₂ 択注と L₁ 4 択注～その長所と短所から学ぶ未知語の推測活動への示唆～」

未知語の推測はその語の意味を学習者が深く考えるため、語彙習得上、効果が高いといわれている。今年度はリーディング活動中の未知語に 1) 英語での 2 択注をつけた場合、2) 日本語で 4 択注をつけた場合、とではどちらが学習者にとってよりよく推測ができ、語彙の記憶保持が高かったかなどを明らかにする。また、今回の授業を皆さんとシェアし、どの要素が未知語の推測を成功させたか、または、失敗させたかについて皆さんと考えていく。

発表者：岡田順子（元埼玉県立朝霞高等学校） 宮島盛明（新潟県立三条東高等学校）

◆ビデオによる公開授業（一般会場 15:35～17:10／学生会場 15:35～17:20）

「新学習指導要領に向けた授業を考える」

授業者：太田 裕也（品川区立鈴ヶ森中学校）

新学習指導要領解説が出て 1 年が経ちます。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業、「思考力・判断力・表現力」を高める授業を私なりに考えて、授業をしました。ビデオでは、SUNSHINE *English Course 2* Program 3 “What can we do for others?”（開隆堂）を扱った、中学二年生の授業をご覧ください。

【一般会場】 C501

解説者：本多敏幸（千代田区立九段中等教育学校）

司会進行：三浦幸子（都留文科大学）

【学生会場】 C401

解説者兼司会進行：工藤洋路（玉川大学） 石井亨（文京区立第十中学校）

8. 昼食：当日は休日につき学生食堂は利用できません。お手数ですが昼食は各自でご用意くださいますようお願いいたします。

9. 協賛企業（五十音順）

株式会社アルク	株式会社いいずな書店	開隆堂出版(株)	学校図書株式会社
教育開発出版株式会社	株式会社桐原書店	ケンブリッジ大学出版株式会社	
株式会社三省堂	啓林館	株式会社正進社	株式会社大修館書店
東京書籍株式会社	株式会社ネリーズ	ベネッセ教育総合研究所	株式会社 mpi 松香フォニックス

（平成 30 年 9 月 26 日現在）

・当日は協賛企業による資料の配布、展示販売などがございます。ぜひご利用下さい。

10. 懇親会：親睦、情報交換の場として懇親会ががございます。会員でない方もご参加いただけます。当日受付にてお申し込み下さい。

会場：拓殖大学 B 館地下 学生食堂

時間：17:30～19:30 予定

会費：3,500 円

11. その他 台風等の不測の事態による大会の中止や開始時刻の繰り下げを行う場合は、大会当日朝 8 時に本学会 HP に掲載いたします。

ELEC 同友会英語教育学会ホームページ <http://elecfriends.com/>

12. 問い合わせ先 E-mail: elec_taikai2018@elecfriends.com 高瀬 ひとみ（タカセ ヒトミ）